

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 春の生き物	動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
2. 天気と1日の気温	天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解している。 天気と1日の気温の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	天気と1日の気温の変化について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 天気と1日の気温の変化について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	天気と1日の気温の変化についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 天気と1日の気温の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
3. 電気のはたらき	乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 電流のはたらきについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	電流のはたらきについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 電流のはたらきについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	電流のはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 電流のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
4. 月や星の動き	月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	月や星の特徴について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	月や星についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

5. とじこめた空気や水	閉じ込めた空気を押すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。 空気と水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	空気と水の性質について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 空気と水の性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	空気と水の性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
6. ヒトの体のつくりと運動	ヒトの体には骨と筋肉があることを理解している。 ヒトが体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 ヒトやほかの動物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	ヒトやほかの動物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ヒトやほかの動物について、観察、資料調べなどを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	ヒトやほかの動物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 ヒトやほかの動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
7. ものの温度と体積	空気・水・金属は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 空気・水・金属の温度と体積について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	空気・水・金属の温度と体積について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 空気・水・金属の温度と体積について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	空気・水・金属の温度と体積についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 空気・水・金属の温度と体積について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
8. もののあたため方	金属は熱せられた部分から順にあたためるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたためることを理解している。 金属・水・空気のあたため方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	金属・水・空気のあたため方について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 金属・水・空気のあたため方について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	金属・水・空気のあたため方についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 金属・水・空気のあたため方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
9. 水のすがた	水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 水の状態変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	水の状態変化について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 水の状態変化について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	水の状態変化についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
10. 水のゆくえ	水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことで、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 自然界の水のようすについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	自然界の水のようすについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 自然界の水のようすについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	自然界の水のようすについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 自然界の水のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。